

ラウル・アリキヴィ氏（元 エストニア 経済通信省 局次長）同行 エストニア 健康・医療・福祉システム最新動向調査

JEEADIS

ken

～デジタル社会の近未来像について～

時期：2019年11月10日（日）～11月16日（土）＜5泊7日間＞
訪問都市：タリン・ヘルシンキ

【ツアーの目的・狙い】

- ① エストニア及びフィンランドのeヘルスの最新状況を確認し、日本の医療情報化の参考となる知見を持ち帰る。
- ② 次世代医療・eヘルス分野における、日本とエストニアとの共同事業・ビジネスの実現を目指す。

【JEEADIS調査の特長】

- ① 事前説明会（7月開催予定）や個別質問等を通じて、各参加者の視察目的やニーズを把握します。
- ② 各参加者の視察目的や知りたい事項を踏まえて、訪問先を調整します。
- ③ 日本の医療IT事情など背景も含めた質問項目を整理し、事前に訪問先へ伝えます。
- ④ 訪問時には、質疑応答や意見交換などに十分な時間を配分します。
- ⑤ 今後のアクションやコミットメント案の作成を支援します。

【調査内容 予定】

- ① エストニアの電子政府とICT基盤の概要
- ② eヘルス導入の経緯と全体像
- ③ eヘルスの主なサービス
- ④ 医療機関間のネットワーク化と情報共有（EHR/PHR）
- ⑤ 医療関連の業務アプリケーションの共同利用・相互運用性
- ⑥ 医療と介護の連携（より広範囲な他業種連携を含む）
- ⑦ ビッグデータの利用・分析の手法と成果（非構造化データを含む）
- ⑧ eヘルスのセキュリティとデータ保護（ブロックチェーン、GDPR対応を含む）など



【同行予定】ラウル・アリキヴィ氏

日本・エストニア/EUデジタルソサエティ推進協議会 理事
1979年エストニア生まれ。タルトゥ大学卒業後、早稲田大学の修士課程を修了する。エストニア 経済通信省 局次長を経て民間へ。現在は日本に暮らす。【共著 「未来型国家エストニアの挑戦 電子政府がひらく世界」】



【調査支援】牟田学氏

日本・エストニア/EUデジタルソサエティ推進協議会 理事
1970年生まれ。中央大学卒業後、行政書士として活動した後、電子政府コンサルタントとして政府委員会等に参加。「manaboo.com 電子政府ブログ」は多くの読者を集める。エストニア医療情報システムに関する講演は多数行っている。共著 「マイナンバーがやってくる 改訂版（日経BP Next ICT選書）」

■スケジュール

NO	日付	都市	時間	交通	内容		
1	11月10日 (日)	東京(成田) ヘルシンキ ヘルシンキ タリン	発 着 発 着	午前 午後 午後 午後	航空機 航空機 専用車	空路、ヘルシンキへ 乗継にてタリンへ 着後、ホテルへ	タリン泊
2	11月11日 (月)	タリン	終日	専用車	終日：政府/行政関連機関・関連企業訪問 ※エストニア政府関連機関	タリン泊	
3	11月12日 (火)	タリン	終日	専用車	終日：政府/行政関連機関・関連企業訪問 ※エストニア政府関連機関	タリン泊	
4	11月13日 (水)	タリン	終日	専用車	終日：政府/行政関連機関・関連企業訪問 ※エストニア政府関連機関	タリン泊	
5	11月14日 (木)	タリン タリン ヘルシンキ	発 着	午前 フェリー	港へ 海路、ヘルシンキへ 着後、ホテルへ 政府/行政関連機関・関連企業訪問	ヘルシンキ泊	
6	11月15日 (金)	ヘルシンキ ヘルシンキ	発	午前 午後	専用車 航空機	政府/行政関連機関・関連企業訪問 空港へ 空路、帰国の途へ	機中泊
7	11月16日 (土)	東京(成田)	着	午前		着後、解散	

注：上記スケジュールは訪問先等の都合により変更となる場合もございます。予めご了承下さい。

【企画協力】一般社団法人 日本・エストニアEUデジタルソサエティ推進協議会
【視察企画・受託販売】株式会社コラボレート研究所〈東京都知事登録旅行業3-5145号〉

訪問先候補（タリン）

<タリン周辺>

e-Estonia Briefing Centre (IBe-Estonia Showroom)

<https://e-estonia.com/>

e-estonia

NGOと産業界の共同で設立された施設で、エストニアのデジタル国家について学ぶことができる。電子政府の基盤である番号制度、国民IDカード、情報連携（Xロード）は、eヘルスの実現にも大きく貢献している。

社会省

<http://www.sm.ee/en>



社会保障問題を所管する政府機関で、健康医療、労働、社会保障、子供と家族、ジェンダーの平等などを活動領域とし、eヘルス戦略の策定・実施において中心的な役割を果たしている。

Health and Welfare Information Systems Center (HWISC)

<https://www.tehik.ee/>



エストニア社会省のICT部門とeヘルス財団の役割と責任を統合した、ICTコンピテンシーセンターとして2017年1月1日に設立。医療、社会保障、労働の3分野をカバーしている。

東タリン中央病院

<https://www.itk.ee/en>



タリン市内にあるエストニア有数の中央病院で、24時間対応の救急医療を提供し、7つのクリニックを備える。eヘルス財団に隣接し、ITを活用した情報管理・共有によるeヘルスを体現している。

タリン工科大学

<http://www.ttu.ee/en>



エストニア唯一の国立理系単科大学で、EUの基金や民間企業から資金を調達し、多くのプロジェクトや共同事業を展開する。eヘルスの講座を開設しており、医療とIT両方の知識を備える国内外の人材を育成している。

Nortal

<https://nortal.com/>



エストニアに本社を置くITベンダーで、電子医療記録、電子処方箋、病院の情報システム、患者ポータル、医療情報交換基盤などを開発している。

Guardtime

<https://guardtime.com/>



エストニアで誕生したセキュリティ企業。KSIブロックチェーンの技術により、電子医療記録や電子処方箋のデータ改ざんや漏洩を防止している。

家庭医

<https://www.eesti.ee/en/health-and-care/health-and-medical-care/medical-care/>

エストニアの国民皆保険制度では、すべての市民が自身の家庭医（かかりつけ医）を登録する。家庭医は、家庭医ポータルなどを通じて患者の情報にアクセスし、eヘルスの起点となっている。

※上記に記載した企業およびテーマは確約するものではなく視察趣旨に沿った訪問先を調整いたします。ご了承ください。訪問先の都合により変更となる場合もございますのであらかじめご了承下さい。

訪問先候補（ヘルシンキ）

<ヘルシンキ周辺>

KELA (The Social Insurance Institution of Finland) [フィンランド社会保険機構] Kela[®]

<https://www.kela.fi/web/en>

議会の監督下にある独立した社会保障機関である。子ども手当、国民年金、失業保険、健康保険、など社会保険に関する業務を一括して担当している。

STeHS (Finnish Society of Telemedicine and eHealth) [フィンランド遠隔医療・eヘルス協会]

<https://www.telemedicine.fi/en/>

遠隔医療及びeヘルスを推進する団体で、国際会議を開催するなど海外との連携も行っている。



HUS (Hospital district of Helsinki and Uusimaa) [首都圏病院連合]

<https://www.hus.fi/en/Pages/default.aspx>



首都圏の24の自治体の住民を対象としたヘルシンキ大学中央病院（HUCH）を含む医療組織連合である。フィンランド国内最大の病院連合であり、2016 - 2018年にThe Virtual Hospital 2.0プロジェクトを推進している。

※上記に記載した企業およびテーマは確約するものではなく視察趣旨に沿った訪問先を調整いたします。ご了承ください。訪問先の都合により変更となる場合もございますのであらかじめご了承下さい。

募集要項

旅行名：エストニア 健康・医療・福祉システム最新動向調査

■旅行期間：2019年11月10日(日)～11月16日(土) 5泊7日

■旅行代金(おひとり様あたり) ￥760,000.-

※成田空港施設使用料、燃油特別付加運賃、航空保険料、現地空港税、出国税(目安額：33,000円程)が別途必要となります。

航空座席：エコノミークラス、
宿泊：1名様1部屋(シングルルーム)料金を基本

※ビジネスクラスご希望の方は別途承ります。

■添乗員：同行

■お食事：朝食5回、昼食5回

■最少催行人員：10名様(募集人員15名様)

■ご旅程：日程表をご参照ください

■利用航空会社：フィンエア、日本航空、スカンジナビア航空、プリティッシュ・エアウェイズなど

■利用予定ホテル：

タリン：Radisson Blu Hotel Olumpia Tallinn または、同等クラス 予定
ヘルシンキ：Original Sokos Hotel Presidentti または、同等クラス 予定

お申し込み方法

添付の参加申込書に必要な事項をご記入の上、(株)コラボレート研究所までメール(info@c-ken.jp)、FAX(03-5847-8971)または郵送にてお送り下さい。併せましてお申し込み金50,000円を下記銀行口座にお振込みください。尚残金は出発7日前までに同口座にお振り込み下さい。

申込書は下記URLよりお取りだし下さい。

<https://www.collaborate.co.jp/images/tour/doc/tour426.xlsx>

お振込み銀行口座のご案内

三菱東京UFJ銀行 浅草橋支店 普通 0893026

口座名：カ) コラボレートケンキュウジョ

■お申し込み締め切り 2019年9月2日(月)

(但し満員になり次第締め切ります)

旅行条件

★この旅行は株式会社サンワールドツアーズが旅行企画・実施するものです。この募集要項に記載のない事項は、株式会社サンワールドツアーズの旅行業約款によります。詳しい旅行条件を記載した書面をお渡し致しますので、事前にご確認下さい。

★お申し込み方法と契約の成立時期：当社所定の申込書に申込金を添えてお申し込みください。申込金は旅行代金のお支払いの際差し引かせていただきます。電話、郵便、ファクシミリでお申込みの場合、当社が予約の承諾の旨を通知した日の翌日から起算して3日以内に申込書の提出と申込金の支払いをしていただきます。旅行契約は、当社が予約の承諾を申込書と申込金を受領したときに成立します。

★旅行代金のお支払い：旅行代金は旅行開始日の前日から起算してさかのぼって7日目にあたる日より前にお申込みが間際の場合は当社が指定する期日までにお支払い下さい。

★取消料：旅行契約成立後、お客様の都合で解除されるときは、次の金額を取消料として申し受けます。

契約解除の日	取消し料
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって45日目にあたる日以降同31日目にあたる日まで	旅行代金の 10%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって30日目にあたる日以降3日目にあたる日まで	旅行代金の 20%
旅行開始日の前々日～前日	旅行代金の 30%
旅行開始日当日	旅行代金の 50%
旅行開始後又は無連絡不参加	旅行代金の 100%

★旅行代金に含まれるのは次のとおりです。

※旅行日程に明示した航空、船舶、鉄道等運送機関の運賃。※旅行日程に含まれる送迎バス等の料金。※現地視察先アポイントアレンジ料。※視察時の通訳費用。※朝食5回、昼食5回。※旅行日程に明示した視察の料金(バス料金、ガイド料金、入場料)。※旅行日程に明示した宿泊の料金及び税・サービス料金(お1人様一部屋利用の宿泊を基準とします)。※手荷物の運搬料金。*これらの費用はお客様のご都合により、一部利用されなくても原則として払戻しは致しません。

★旅行代金に含まれないもの：前項のほかは旅行代金に含まれません。その一部を例示します。

※超過手荷物料金。(スーツケースは1個3辺の和が203cm、23kgまで)※クリーニング代、電報電話料、ホテルのボーイ・メイド等に対する心付け、その他の追加飲食等個人的性質の諸費用及びそれに伴う税・サービス料金。※オプションツアー料金。※日本国内におけるご自宅から発着空港等集合・解散地点までの交通費・宿泊費。※渡航手続関係諸費用(取扱手続料4,400円)※空港使用料、欧州国内TAX、航空保険料、燃油特別付加運賃、出国税。※ビジネスクラス追加料金(ご希望の場合)

★旅行条件・旅行代金の基準：この旅行条件は2019年5月15日を基準としています。

★その他：旅行代金はおひとり分を表示しています。

【視察企画・受託販売】

株式会社コラボレート研究所

東京都知事登録旅行業第3-5145号

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-8-4東商共同ビル7階

Tel: 03-5847-8970 Fax: 03-5847-8971

E-Mail: info@collaborate.co.jp

〔営業時間〕午前9:30～午後5時30分(土・日・祝祭日休業)

担当：田島

【旅行企画・実施】

株式会社サンワールドツアーズ

<観光庁長官登録旅行業 第977号/JATAボンド保証会員>

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-49-7

総合旅行業務取扱管理者 山内 信